

研究タイトル: 補強土に関する研究



氏名:	中村 努 / NAKAMURA Tsutomu	E-mail:	tsutomu@tomakomai-ct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	土木学会, 地盤工学会, 国際ジオシンセティックス学会, ISSMGE		
キーワード:	公開講座, 出前授業, 地盤, 補強土, ジオグリッド(ジオシンセティックス), 室内試験		

技術相談

提供可能技術:

一軸圧縮試験、三軸圧縮試験、一面せん断試験、標準圧密試験、締固め試験、ジオシンセティックス・帯状補強材・短繊維を用いた土の補強、土中クリープ試験等、各種室内土質試験を行っています。

研究内容:

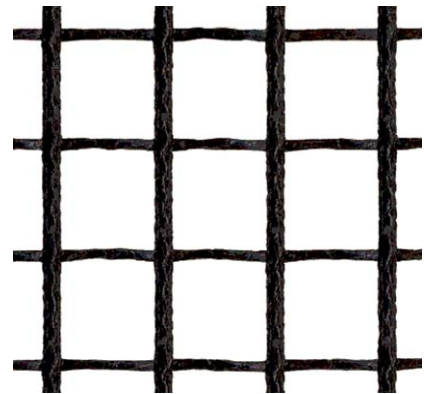
「補強土に関する研究」

補強土工法のルーツはメソポタミア(BC3000~)の最古の大盛土として知られるイラクのウルの神殿盛土や、中国での前漢時代に建造された漢代長城と呼ばれる盛土に葦等の天然素材が用いられたことなどに見いだされます。日本でも土木工事に竹や木を利用した例は古くからあり、軟弱地盤処理のためのそだは藩制時代から使用されています。近代の補強土工法はジオシンセティックスと呼ばれる面状の人工材料や帯状の金属プレートを用い、斜面崩壊や地盤の不等沈下等を防ぐ工法です。また、近年は不透水性のシートを廃棄物処理場の建設に用いることにより地下水汚染を防ぐ工法等、さまざまな分野に活用されています。

本研究室では主にジオグリッドや短繊維を用いた土の補強に着目し、補強効果や積雪寒冷地における用途拡大を目的としています。



短繊維



ジオグリッド

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
土中引抜き試験装置	
三軸圧縮試験装置	
一軸圧縮試験装置	